

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

特に断りの無い限り日付は日本時間です。

最初のISS構成要素打上げから2118日経過しました 第9次長期滞在クルーのISS滞在は140日経過しました ISS動向

9月4日に、第9次長期滞在クルーのゲナディ・パダルカ、マイケル・フィンク両宇宙飛行士は、彼らにとって4回目でも最後となる船外活動を行いました。ロシア製宇宙服(オーラン)を着用し、欧州補給機(Automated Transfer Vehicle: ATV)のランデブー・ドッキングをサポートするためのアンテナを3基、「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)外壁に取り付けました。他の作業として、「ザーリャ」(基本機能モジュール)の冷却システムの一部であるポンプパネルの交換、ザーリャ上の手すりに宇宙服をつなぐ米国製テザーのガイド装置の設置などを行いました。作業時間は5時間21分で、午前1時43分にハッチを開けて開始し、午前7時04分にハッチを閉じて終了しました。

ATVはISSに物資を輸送する欧州宇宙機関(ESA)の補給機で、来年初飛行を行う予定です。

また、NASAケネディ宇宙センター(KSC)のあるフロリダ半島に上陸したハリケーン「フランシス」の写真も撮影しました。



ISSから撮影されたハリケーン「フランシス」



台風の中から地表が見える



ザーリャ上でポンプパネルの交換を行うパダルカ(左)、フィンク(右)宇宙飛行士



交換するポンプパネルを納めた容器とパダルカ(左)、フィンク(右)宇宙飛行士

“今週のきぼう”

ハリケーン「フランシス」対応

「きぼう」日本実験棟は、現在NASAケネディ宇宙センター(KSC)で打上げに備えた準備をしています。そのKSCのあるフロリダ半島にハリケーン「フランシス」が上陸しました。今回は特に大型のハリケーンのため、KSCでは約14,000人の作業員全員に避難命令が出されました。

スペースシャトルや「きぼう」を含むISSの構成要素は、施設の雨漏りなどに備えてカバーがかけられました。

ポートカナベラルでは最大瞬間風速55.4m/sを記録し、垂直状態で展示されていたマーキュリー・レッドストーンロケットが倒れましたが、スペースシャトルや「きぼう」船内実験室には影響は出ておりません。



宇宙ステーション整備施設(SSPF)内でカバーをかけられた「きぼう」日本実験棟

“トピック”

「宇宙の日」イベント 筑波宇宙センター特別公開「夢の宇宙に大接近！」

今年の筑波宇宙センター特別公開『夢の宇宙に大接近！』は10月2日(土)を予定しています。この他にも「宇宙の日」を記念して、その前後には各地のJAXA施設で一般公開などたくさんのイベントを用意しています。すでに終了したイベントもありますが、まだまだたくさんのイベントを予定しておりますので、お近くの施設にぜひお出かけください。

イベントの日程や場所はVISIT JAXA(<http://visit.jaxa.jp/>)でご案内しています。

宇宙の日・・・1992年9月12日、毛利宇宙飛行士が日本人として初めてスペースシャトルで宇宙へ飛び立ちました。この年は国際宇宙年(ISY)で、世界中が協力して宇宙のことを考え、地球環境について考えた年でもありました。日本でも、この国際宇宙年をきっかけに宇宙の普及活動を行おうと考え、一般の方々から「宇宙の日」を公募しました。その結果、毛利宇宙飛行士の飛び立った日が選ばれ、以後、9月12日は「宇宙の日」としています。



今週土日には、地球観測センター、角田宇宙推進技術センター、航空宇宙技術センター飛行場分室の一般公開が行われます。

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。